

【礼拝賛美】

「神の国と神の義を」(2回くりかえし)
神の国と神の義を まず求めなさい
そうすれば みな与えられる
ハレル ハレルヤ

【本日の配布物】

- ・ 7月聖務表
- ・ 7月祈禱カレンダー
- ・ 霊修会案内、申込書
- ・ OMFニュースレター

【消息 報告】

・ 大掃除 先週午後は大掃除を行いました。30名がご協力くださり、たいへん感謝でした。

・ 昨日、今日と、教団の青年ホザナ委員会の企画で6名(内蒲田4名)が沼津シオンへ出掛けています。昨日土曜日は、毎週沼津シオンで行っている子ども集会で奉仕。本日日曜日は沼津礼拝に出席。

この取り組みは、7月に1泊で予定している「お泊りCLUB ZION」の開催準備です。春のホザナキャンプには沼津シオンの小中学生3名と未信の保護者2名が参加しました。シオンの若い世代に福音が根付くようにお祈りください。

・ 荻野泰弘牧師 皆様にご心配をおかけしておりますが、お祈りをありがとうございます。咳など残っている症状はありますが回復傾向にあります。本日は講壇交換のために沼津へ出掛けています。

・ 手術を受ける兄弟が複数おられます。以前週報に掲載した姉妹のように重篤な方もあります。健康の戦いにある関わる方のためにお祈りください。



No.13 2025・6・29

「ですから、明日のことまで心配しなくてよいのです。明日のことは明日が心配します。苦勞はその日その日に十分あります。」マタイの福音書6章34節

あるときイエスさまは、ガリラヤ湖畔の丘陵地で多くの群衆に対してお話をされました。群衆を草地の上に座らせ、ご自身は湖の岸辺近くに立たれました。そして湖から丘の上へと吹き抜ける穏やかな風に御声を乗せることで、自然の講堂ながらに、神の国のメッセージを語られたのです。

人々が座っていた草地には、所々に野生のシクラメンやポピーの花が咲き、風に揺れていたことでしょう。また近くの木々では小鳥たちがさえずり、人々の頭上を飛び交っていたかもしれない。ガリラヤ湖畔のどこにでもあるような風景の中で、そこにある一つのひとつのピースを用いながら、イエスさまは

神さまのことを語りました。

人々にとって神さまのお話を聞く機会は、神殿やシナゴグでトーラーを学ぶ時間と決まっていた。律法を暗記したり、歴史をおぼえるということに重きが置かれていました。だから、イエスさまが空の鳥や野の花など、目の前にあるものを用いて語られることに驚きつつも、喜んで耳を傾けたのではないでしょう。

イエスさまが語られたことは、神さまがご自身の被造物を愛しておられ、取るに足りない小さないのちにさえ、気を配り、その必要を常に満たしていただくという事実です。神さまは、ご自身が息を吹き込まれ、霊

によって交わりを保つことができる存在である私たちを何よりも愛しておられます。主は私たちの必要を必ず満たしてくださるので、心配しなくもよいのです。

心配というものは、最初は小さな波紋のようですが、放っておくと心の中に大きな波を立て、私たちの心を恐れや焦りで満たしてしまいます。ペテロが大きな波を見て信仰を失い、溺れかけたように、心配は私たちの目をイエスさまからそらし、信仰を揺るがしてしまいます。

イエスさまは神の国と神の義を求め、しっかりと見つめることによって、心配から解放され、神さまの救いとまごころをこの身を通して知ることになるのだと教えておられます。主に信頼し、主と共に日々を送り、私たちのベストを尽くしましょう。

(岸田悟)

6月29日	聖日礼拝（講壇交換）
小礼拝	9時 林伝道師
聖日礼拝	11時 中西と兄 高橋美姉
前奏	
招詞	イザヤ書49章13節
会衆賛美	聖歌64 神の賜う愛
会衆賛美	神の国と神の義を
主の祈り	
交読	詩篇16篇1～11節 （旧約聖書 945頁）
礼拝祈禱	
使徒信条	
聖書朗読	マタイの福音書 6章25～34節 （新約聖書 10頁）
説教	心配しなくてよい 岸田 悟 牧師
会衆賛美	聖歌508 われはおさな
献金	
頌栄	聖歌376 父御子御霊の
祝福	
報告	
霊修会アピール	
感謝祈禱	奏楽



【招詞（主の招きのことば）】
イザヤ書49章13節「天よ、喜びの
声をあげよ。地よ、小躍りせよ。山々
よ、歡喜の声をあげよ。主がご自分
の民を慰め、その苦しむ者をあわれ
まれるからだ。」アーメン

【本日の予定】
■会堂清掃 礼拝後
■小学科ホザナ礼拝 11時～3階
お話 林伝道師
■バイブルカフェ 12時15分～45分

【本日の礼拝奉仕者】
■小礼拝・オンライン配信
司会 林伝道師
報告 林伝道師
会場 配信チーム
配信

■聖日礼拝
礼拝祈禱
聖書朗読
献金1階
2階
献金祈禱
報告 司会者
会場 林伝道師
受付
パワポ パワポチーム

【今週の予定】
1（火）9時半～ 会堂貸出
（ゴスペル）
3（木）10時半～ 祈禱会

【本日 講壇交換日】

■講壇交換（教団）
& 霊修会訪問アピールデー
説教 岸田 悟 牧師
茅ヶ崎シオン・キリスト教会主任牧師
教団理事 宣教・教学部長

茅ヶ崎シオン出身で、修養生時代には蒲田でも奉仕をされました。若い頃には留学、海外派遣も経験し、のちに茅ヶ崎シオンに着任。現在に至ります。奥様とふたりのご子息の4人家族。シオン創立者の岸田愛治先生の孫にあたります。

本日は、小礼拝と聖日礼拝共に説教をしていただきます。朝早くからお出かけいただき感謝です。

《各教会の説教者》
茅ヶ崎…石田牧師、石岡…倍弘牧師
横浜…坂本牧師、取手…吉川牧師
※荻野牧師は沼津シオンで奉仕です。

《第67回霊修会》

日程 10／12（日）夕方～13（月祝）
テーマ
「聖霊にゆだねて、神から来る」

会場 湘南国際村センター
（神奈川県葉山町）
講師 岩上祝仁師
インマヌエル綜合伝道団 代表
インマヌエル神戸キリスト教会
早割り締切 7／27（日）
申込締切 9／7（日）

・今年も霊修会のご案内をする季節となりました。ぜひご参加ください。
・初日は各シオンで礼拝をささげたのち、午後のチェックインを目指して出掛けます。
・夕方には小グループでの分かち合いです。夕食後より聖会が行われます。
・費用等の詳細については、本日配布の申し込み案内をご覧ください。

【来週は…】

■7月6日（日）宣教礼拝
講師 永井敏夫師
元日本ウイクリフ聖書翻訳協会宣教師
災害支援クラッシュジャパン代表理事
※小礼拝、聖日礼拝共に説教をしていただきます。

蒲田周辺は外国人が多く暮らしています。私たちにとつての「隣人」といえるでしょう。世界宣教は海外に行くだけではありません。私たちが暮らすこの街でできることも少なくありません。

「全世界に出て行き、すべての造られた者に福音を宣べ伝えなさい」（マルコ一六15）とのみことば。また、「あなたがたが、これらのわたしの兄弟たち、それも最も小さい者たちの一人にしたことは、わたしにしたのです」（マタイ二五40）とのみことばを、今、ここにいる私たちはどのように受け止めるか、共に考えたいと思います。

※当日は、蒲田駅東口にあるネパール人教会のキラン牧師も蒲田シオンの礼拝に出席の予定です。